



鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；

創立： 1985 年 3 月 27 日； RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；

電話： 059-383-7077； FAX： 059-383-0501；

E-Mail： info@rotary-suzuka-west.org； <https://www.rotary-suzuka-west.org/>

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール； 例会日： 火曜日； 例会食事： 12: 00； 例会： 12: 30-13: 30；

UNITE

FOR

GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025 年 7 月 29 日(火)第 1800 回例会

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール

開始： 12: 30 終了： 13: 30

例会進行： 小林英将 S A A

点鐘： 直前会長 川戸広樹

ソング： 手に手つないで

ソングリーダー： 川戸広樹 直前会長



会長挨拶

川戸広樹 直前会長

みなさん今日は。連日、大変暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

暑さはまだまだ、これからでございます。どうぞご自愛ください。

さて、先週 26 日の土曜日に、岐阜県の岐阜グランドホテルにおいて開催されました、第一回ロータリー財団研修、いわゆる補助金の管理セミナーに参加し、研修を受けて来ましたので報告させていただきます。

ロータリー財団の使命につきましては、職業人と、地域社会のリーダーのネットワークを通じ、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することでございます。また、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善を達成できるようにします。

また活動につきましては、ロータリー財団研修、補助金管理センター、補助金活用センターがあります。寄付推進と認証につきましては、寄付金の種類と、目標金額について、ご認識をください、ということであります。

また、ポリオにつきましては、ポリオへのご理解と寄付推進ポリオプラスソサエティの募集と、各クラブで催すイベントに出かけ、ポリオプラス募金を、応援ポリオに関する卓話者を派遣するというふうなことでございます。

またロータリー財団の制度としましては、地区の補助金グローバル事業の資金調達を制度変更し、その地区が使用できる地区補助金総額の増減、そして災害救援基金や、大規模プロジェクトの創設、また第 2630 地区の補助金支給規定の変更、最後にローターアクトクラブの補助金申請が可能というふうなことでございます。

ここでポリオについてお話をさせていただきます。

皆さんご存知のように、ポリオは小児麻痺と

言ってポリオウィルスによって発症する病気です。特に五歳以下の子供にかかることが多く、麻痺などを引き起こす病気でございます。

主に感染した人の便を介して感染します。非常に感染力が強く、神経を犯して永久的な筋力低下や、麻痺をひき起こし命に関わることもあります。

その治療法としては、現在は存在せず、ポリオ発症後は対症療法のみでございます。

そこで、予防としましてはワクチンのみでございます。口から飲む経口生ワクチンと、注射の不活性化ワクチンの 2 種類が現在使用されております。

日本を含む多数の国々で現在も予防接種キャンペーンが続いております。自国で接種コストを負担できない国もまだまだ存在し、そのため世界ポリオ根絶推進活動では、多額の費用を必要としています。それを国際ロータリーポリオプラスプログラムが支援しているわけでありす。

ここで言いますポリオプラスソサエティの案内でございますが、このプログラムはすでに多くの国のロータリー会員が参加しています。内容につきましては、毎年百ドルを、ポリオプラス基金へ寄付して頂くことを表明して頂いております。登録をしていただくと、登録書とソサエティメンバーのピンバッジを受け取っていただけます。

寄付タイミングはまったく自由で、年度内に一括でも分割でもオッケーでありまして、各クラブで決められた寄付との合算でもオッケーでございます。

次にロータリー財団の補助金についてであり

ますが、ロータリー財団の補助金の対象となる事業とは何ですか、ということで、そこには人道的プロジェクト奉仕がございます。

また財団の使命に関連している事業はどんなことかと言いますと、財団の使命とは、まずはロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを指します。単なる寄贈と贈呈式で終わらない持続可能な事業であるというふうなことでございます。

またグローバル補助金を利用するには、実施国と援助国のクラブで 3 万ドル以上のプロジェクト。どんなことかと言いますと、地域社会のニーズを調査し、そして贈呈する物品の調達方法、また、贈呈した物品の維持管理、保守の方法など、成果を持続させる方策、公共イメージの向上と、その広報の方法等、成果の測定が可能であること、以上複数の地区やクラブが資金の拠出に加わる人が多いことでございます。

以上がセミナーに参加させて頂いた報告でございます。



幹事報告

柴田友美 幹事

1.当クラブ例会変更のお知らせ

◇2025 年 8 月 12 日（火）休会（お盆）

2. 鈴鹿・亀山グループ各ロータリークラブ例会
変更のお知らせ

鈴鹿 R C : 8 月 13 日（水）お盆休会

8 月 20 日（水）納涼家族例会のため木曽川

「昼鵜飼観覧及び国宝犬山城」

3. 職業奉仕委員会ラーニングセミナーのご案内

日時 : 2025 年 10 月 5 日（日）受付 9 : 30

点鐘 10 : 00 終了 15 : 00

場所 : 名鉄グランドホテル

出席要請者 : 野間芳実職業奉仕委員長

登録料 : ¥ 8, 000

登録締切 : 9 月 12 日（金）

振込締切 : 9 月 19 日（金）

4. 2025-26 年度地区大会開催の案内を配付して
ございます。

5. 2026 年台北国際大会(2026 年 6 月 13 日-17
日) の案内を頂戴しております。

6. ミャンマー地震支援金送金完了の報告をいた
だいております。「日・タイ共同ミャンマー復
興支援金」 合計 41, 792, 353 円

2025 年 7 月 8 日送金

7. 本日例会終了後、第 3 回理事・役員会を事務
局において開催いたします。

8. 受贈誌 : 2025-26 年度事業計画書 : 鈴鹿ベ
イ R C



委員会報告

* 鈴鹿市青少年育成市民会議第一回理事会の 報告

伊藤雅文 青少年奉仕委員長

出席報告

江藤隆仁 出席委員長

正会員 25 名中 14 名出席 出席率 66.66%

ニコニコボックス報告

藤野恵子 親睦・家族委員長

敬称略・順不同

柴田友美 : 本日は藤野さんとネパール報告をし
ますのでよろしくお願いします。

お暑い毎日ですが、皆様ご自愛ください。

野間芳実 : 暑い日が続きます。水分補給を充分
に取り熱中症にならない様に・・・。

藤野恵子 : ネパールの報告を柴田さんとともに
させていただきます。よろしくお願いします。

2025 年 6 月 5 日



本日のプログラム

「ネパールの報告」

藤野恵子前国際奉仕委員長

柴田友美前ロータリー委員長



ネパールラムチェ村識字率向上教育支援プロジェクトの報告



5 月 28 日はカトマンズから移動し、2 時間ほど山に向けてデコボコ道で、車、バス、バイクが自分の好きなように勝手に交通ルールはどこにあるのかというようなところを通りかなりの高度にあるリゾート風ホテルに到着しました。夜中に雷、雨で翌日悪路をラムチェ村まで行けるのかと不安になりましたが、私たちの行いがよかったのか、とてもよい天気になり、この季節ではあまり見る事が出来ないという高い山脈の頂迄見ることが出来ました。そんな良い天気の中を途中昼食の休憩を取りながら 2 時間余りかけてラムチェ村に到着しました。

柴田さんが 2018 年に訪れたときは、ネパール地震の後で大変な様子だったようですが、今回は学校もすっかり新しくなっていました。

祝日でお休みであったにも関わらず沢山の子どもたちが私たちの到着を待っていてくれました。新しくできた校舎のなかの広いホールの入り口でたくさんの子どもたちから手作りのレイと花束を貰いました。贈呈式ということで、一段高いところのソファに座らせていただきました。しばらくすると校長先生のとても長いお話がありました。全く何を言っているのかわかりませんでしたが。その後通訳を介して、沢山の子どもたちに学校へ通ってほしい、そして友達と楽しく勉強や遊びをしてほしいと言われていました。その後、わたしと柴田さんが挨拶をさせていただきました。いよいよ贈呈式です。あらかじめ現地の柴田さんの知り合いの方をお願いをしておいたプレゼントがビニール袋にはいったまま運び込まれ、先生たちが手分けをして、リュックサック型のカバンの中に半袖のポ

ロシャツ、ジャージの上着とズボン、白いスニーカー型の靴を入れて、子どもたちはそれを受け取るために一列に並び私と柴田さんが子ども一人ずつに渡しました。とても暑い会場であったにも関わらずもうとすぐにリックを開けてポロシャツ、ジャージの上下、靴を履いて友だちと嬉しそうにしていました。その光景を見て、皆さんの善意がこんなにも子どもたちに喜びを与えることが出来たことをとてもうれしく思いました。また、お金を渡して現地で物資を調達して渡すだけでは味わえない感動がありました。老体にむち打ちをはるばる来たことに意味があったなあと感じました。物品の贈呈後これで終わりかなあと思っていたら、再び校長先生が登場されとても長くお話をされていました。通訳の方によると、飛行機で来るだけでも遠いのに、そこからまた山道を何時間もかけてラムチェ村まで来ていただいた。その大変なことに對して私たちは何もできないのでせめて周りに咲く花々でレイを作ったり、花束を作ってお渡しすることしかできませんが、本当にありがとうございます。その後、付き添いのお母さんたちに対しては、いただいたものは大切に使用してほしい、また、シャツ、ズボンはこまめにきれいに洗濯をして大切に使用するようにと話されました。最後に子どもたち、先生たちと記念写真を撮り式典は終了しました。この時の模様は地元のテレビで放映されました。その様子を後でご覧いただきたいと思います。屋内でしたが屋根に断熱もされていなくて頭が熱くなり、私は、少々熱中症気味でした。また行きとは違う景色の良いところを見てもらいたいという運転手さんの好意で 4 時間ほどの悪路をドライブ

をしてカトマンズまで戻りました。

最後になりますが、皆さんの尊いご寄付のおかげで、沢山の子どもたちに学校へ行くための靴、靴、制服、文具等を贈ることが出来たことを、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ラリトプールロータリークラブの例会に出席して



2025 年 6 月 5 日

ネパールラリトプールロータリークラブに 5 月 31 日(土)に訪問しました。

ネパールはまだ週休 1 日で土曜日がその日です。人が集まりやすいということで土曜日に例会が開かれます。毎週ではなく月 2 回の開催です。例会場はカトマンズから車で約 20 分ほどのところのビルの 6 階のレストランの一角です。朝 9 時 30 分くらいに到着しましたが、会員は例会前にそれぞれに朝食をとられていました。例会までの時間はみなさん歓談をされています。その中で、鈴鹿西の 20 周年の時のラリトプールとの提携時の話や当時の中瀬会長や他の会員との懇親の模様の写真を見せていただきました。

10 時に例会開始です。出席者は 15 名でした。

ベルはありましたが点鐘はなく会長が挨拶をされ、今週のソングはなく、出席会員の自己紹介と私たちの紹介と挨拶に続き通常の例会運営をされました。結婚のお祝い、ニコボックス、奨学金の贈呈、バナーの交換、お土産の贈呈、記念撮影と進み約 1 時間での閉会となりました。会長のお話の中で、やはり会員が減っており現在 25 名で、会員減少の対策としてご夫婦で会員の方もおられました。また、会員数が少ないことでほとんどの方が会長をされており、2 回目という方も何人かいらっしゃいました。活動については、1 クラブだけでは資金面もままならないので他クラブと一緒に、今は主に心臓病治療に対する機器の援助に力を注いでいるということで申請書類の資料もいただきました。例会後パタン王宮広場を案内していただき、日本料理店で皆さんと昼食を共にしました。少ない会員数の中で、皆さんが協力をして運営されていることまた、とてもまじめにロータリーについて考えておられることを感じました。また、我がクラブ同様会員の年齢もかなり高いなあと印象を持ちました。皆さんの心温まる歓待を受け、旅の最後を心地よくしめくることができました。旅自体はなかなかハードではありましたが、生活、文化、言語等知らないことの多さにショックを受けながらも色々な知識を得ることができました。最後になりますが、みなさんにいただきました沢山の寄付で多くの子どもたちの笑顔を見ることが出来たことを感謝します。本当にありがとうございました。



会報発行担当：川戸広樹